

創立 120 周年を迎えるにあたって

病院長 柿澤 卓

来年には本学は 120 周年の記念すべき節目を迎えますが、その記念事業の一環として大学本体の水道橋への回帰が本格化し、その準備が順調に進捗していることをご報告申し上げます。水道橋病院にとりましては、昭和 57 年に大学が千葉に移転して 30 年、TDC ビルの中に開設された新しい水道橋病院となってより、20 年が経とうとしております。その間、水道橋病院には諸々の曲折がありましたが、病診連携のもとに先生方には特段のご支援を賜り、衷心より感謝しております。

さて、先生方の関心事の一つは、水道橋病院への回帰がどのように行われるのかということではないかと思えます。しかし、大まかな移転計画は決まってはいるものの、詳細については今後のこととして、計画は段階的に行われることが予定されております。支障のない程度に大まかに申し上げるならば、第一段階として槐坂上の土地に 1・2 年生教育の 1 号館（仮称）を建て、ついで TDC ビル直近のリパーク跡地に 3・4・6 年生の講義室・実習室あるいは血脇ホール・図書館等を容れるとのことです。ついで、TDC ビルは病院・研究室主体の施設に改装されます。さらに、TDC ビル裏の隣地は、順次既存のビルを入手して、新棟を建設して研究施設等の拡充を図る計画のようです。

先生方には、大学の水道橋への回帰の話をお聞きになって、今までの水道橋病院との病診連携関係はどのようになってしまうのだろうか、と言うご心配もあろうかと思えます。しかし、先に述べましたように TDC ビルの病院部門に計画が及ぶのは、もう少し先のことになると思いますので、当面は現状のままの状態が続くと思われるのでよろしいかと思えます。また、いずれそのような時が来ましても、ご紹介等にご不便をお掛けしないよう、都市型の病院、言い換えれば先生方の強いバックボーンとなる基幹的歯科大学病院を継承して行きたいと考えてお

ります。

私たち水道橋病院のメンバーは、大学が千葉に本拠地を移していた 30 年間、先生方の暖かいご協力による病診連携のもとに、多くの患者様をご紹介頂いたことを心より感謝しております。今後とも連絡を密に取り、病診連携を一層深めてまいりたい所存です。

新任のご挨拶

口腔外科 准教授 片倉 朗



本年 9 月から千葉病院口腔外科から異動して参りました。私は昭和 60 年に本学を卒業し、口腔外科に入局直後の 2 年間は旧水道橋病院に勤務して口腔外科の基本を学ばせて頂きました。本学は 120 周年を迎えますが、この機に再び伝統の水道橋に勤務することになり襟を正しております。水道橋病院はその立地条件と課せられた機能から、患者様は勿論のこと先生方からのご要望も多岐にわたっております。医療を提供する側は診療するに当たり安全を担保するだけの情報収集ができていたかを問われます。診断・治療の御依頼にとどまらず画像検査、臨床検査なども積極的に御利用ください。良質な歯科医療の提供は十分な安全管理の結果に生まれます。安全管理と医療サービスの向上に努め、先生方の臨床に有意義にフィードバックできる診療支援体制を整備していきたいと考えております。専門分野は口腔がんの診断と治療ですが、抜歯、外来小手術から顎変形症等幅広く対応させていただきます。柿澤病院長、高野准教授とともに皆様との地域医療連携をさらに充実させるべく精進してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

水道橋病院障害者歯科開設にあたり

口腔健康臨床科学講座障害者歯科学分野
大多和由美

はじめに

東京歯科大学水道橋病院では、従来から小児歯科や歯科麻酔科を中心に障害者歯科診療を行ってまいりました。しかしながら、障害者歯科という名称がはっきりとうたわれていないことなど、ご紹介いただく開業歯科医院や地域の障害者歯科（口腔保健）センターや患者様には、わかりにくいというお声も頂戴しておりました。そこで本年9月より水道橋病院の講座である口腔健康臨床科学講座に障害者歯科学分野が設立されました。

スペシャルニーズデンティストリー

—これからの障害者歯科—

日本障害者歯科学会では、「これからの障害者歯科の使命は、障害のある人という狭義の枠を超えて、スペシャルニーズのある人を対象として行われる包括的な生活支援において、歯と口腔機能の面で専門的立場から、また超職種的にも関与していくことである」ことを基本的な理念としています。スペシャルニーズのある人とは、歯科保健や歯科治療を行うときに特別な配慮や工夫、知識と技術をもって対応することが必要になる方々です。急速な高齢化と少子化の進行、疾病診断と治療法の著しい進歩によってスペシャルニーズのある方は増えてきています。そしてニーズも多様化しています。

カスタムメイドのチーム診療

そこで、診療はそれぞれの患者様のニーズや状態に合わせて、行動調整、全身麻酔や鎮静法を応用して進めていきます。障害者歯科学会指導医2名、認定医1名、歯科麻酔科認定医を中心に水道橋病院全員がカスタムメイドのチーム診療を行います。診療室は小児歯科外来、専門外来、歯科麻酔科外来を患者様に合わせて選択します。

歯科医療の立場から、口腔疾患の予防、口腔ケア、機能訓練を通して口腔機能の回復、発達支援を行い、健康づくりのサポートをしていきたいと思っております。

コーディネーターとしての役割

水道橋病院における障害者歯科の専任としては、私がスタッフとして診療にあたらせていただきますが、従来の診療科の垣根を越えて最善の診療をコーディネートする役割も担っており、充分にご相談の時間を取ってまいります。患者様のニーズに合わせた診療を進めるため、



お待たせしないためにご予約をお願いいたします。また、来院前のご相談もお待ちしております。

お問い合わせ先

東京歯科大学水道橋病院

障害者歯科・小児歯科共通直通 03-5275-1723

大多和由美 e-mail ohtawa@tdc.ac.jp



全身麻酔下の歯科治療



視覚支援を用いた行動調整

炭酸ガスレーザーを用いた 眼瞼下垂手術

眼科 吉野真未

水道橋病院眼科では、患者様の視力に代表される視機能（quality of vision）のみでなく、quality of life (QOL) をあげるべく、新しい技術を積極的に導入しています。白内障手術においては、遠近両方が見える多焦点眼内レンズを日本で最初に先進医療として取り入れました。また、近視に代表される屈折異常を矯正するレーシック（LASIK）では、エキシマレーザーに加え、NASAの宇宙飛行士への手術も許可されたフェムトセカンドレーザーを取り入れ、非常に良好な結果が得られています。今年から、また新しい分野で先進的な技術を導入したので、紹介させていただきます。

【眼瞼下垂と治療】

眼瞼下垂とは、眼瞼（まぶた）が上がりにくくなる病気で、先天性の原因で起こる場合と、加齢や病気（重症筋無力症など）、ハードコンタクトレンズの長期装用などといった後天的な原因でも起こります。自覚的に“まぶたが上がらない”“まぶたが重い”という症状を訴える方もいらっしゃいますが、知らない間に顎を上げるよ

うにして見ていたり、額の筋肉（前頭筋）を使っていることもあります。

これまで眼科では、先天的な眼瞼下垂は視力の発達に影響を与えるため、早急な治療をしてきましたが、後天的な理由、特に加齢に伴う場合、視力に影響がなければ保存的に経過を見ていました。というのも、眼瞼下垂の手術は、まぶたは皮膚が薄く、細かい血管が多いため出血が多く、術後に腫れが続くため、積極的に勧めていませんでした。

【炭酸ガスレーザーによる眼瞼下垂手術】

今回導入した炭酸ガスレーザー（図1）は、皮膚科形成外科領域でほころやシミとり、皮膚切開などで利用されています。炭酸ガスレーザーで止血を行いながら皮膚を切開すると、出血が抑えられて術野を正確に把握できるため、短時間で確実な手術が可能です。術後の腫れも、これまでのメスでの切開に比べて少ないです。これは、術者にとっても患者様にとっても大きな利点です。

術後10日位で抜糸をしますが、その後、“まぶたを上げるのが楽になった”“世界が明るくなった”という声だけでなく、“本が長時間読める”“肩こりが減った”という2次的な効果もあらわれ、大変喜ばれています（図2）。

【診察予約と費用】

眼瞼下垂かと思ったら、まず眼科を受診してください。外来予約は、眼瞼下垂について相談したいと言ってくだされば担当医の曜日と時間を調整します。費用は、治療としての眼瞼下垂手術は保険適応で、自己負担（3割の場合）は片眼2万2千円、両眼の場合4万5千円ぐらいです。整容目的で行っている手術とは異なり、あくまでも眼瞼下垂による視機能の低下に対する治療ですが、整容面での満足度が高く、待合室での会話も弾んでいらっやいます。

“最近、目が重い”“夕方になるとよく見えない”などでお困りの先生方、患者様がいらっやいましたら、お気軽に眼科外来へお問い合わせください。



図1 炭酸ガスレーザー（ニーク社製）

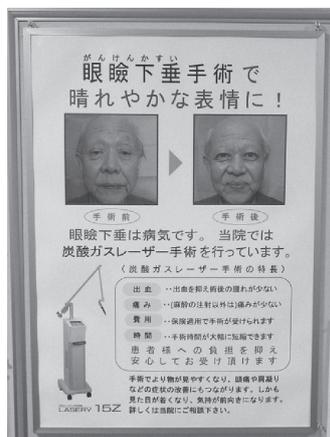


図2 眼科外来にある患者様向けポスター

コンピューターシミュレーション導入の即時負荷外来

口腔インプラント科 関根秀志

欠損歯列への対応の手段として、インプラント治療は広く臨床に用いられており、当院におきましても、口腔インプラント科を中心に、日々、臨床を充実させてまいりました。日頃より、たくさんの診療のご依頼、お問い合わせを頂戴し、あらためまして御礼申し上げます。

インプラント治療は、従来の補綴治療に対していくつかの利点があり、適切に用いられた場合には、患者さんにこの上なくお喜びをいただくことができます。一方、インプラント治療に関わる偶発症が散見されることも事実であり、一部のマスコミにも取り上げられ、問題となっております。インプラント治療は、患者・術者の双方にとりまして負担の大きな治療であり、間違いのない適用が望まれます。

インプラント治療の欠点の一つである治療期間の長期化への対応として、最近ではインプラント埋入後の治療期間の短縮が注目されています。インプラント埋入直後から補綴物を装着し、機能させながら治療期間を経過させる「インプラント埋入即時負荷」術式が、インプラント体の改善や術式の改良などにより臨床応用されるに至っております。

当科におきましても、慎重に検討しながら、「即時負荷」の実績を積み上げてまいりました。そして、このたび、平成21年10月1日より、院内専門外来の一つとして「インプラント即時負荷外来」を開設いたしました。モットーである「安全かつ確実なインプラント治療」に「即時負荷」を導入するにあたり、術前の診査を徹底的に行い、適応症の選択を厳密に実施するため、CTデータをもとにしたコンピューターシミュレーションを利用しております。検査結果から、適用可能と診断された場合には、術前に精度の高い補綴物を準備することにより、埋入手術当日に固定式の歯列を回復する「ワン・デイ・インプラント」治療が可能となります。事前検査と準備が極めて重要となりますことをご理解のうえ、お問い合わせをいただければ幸いです。

第5回東京歯科大学外科的矯正治療勉強会のご案内

口腔外科 高野正行

本学の3病院合同で開催して多くの皆様のご参加をいただいている「東京歯科大学外科的矯正治療勉強会」も早くも4回目を迎えることとなりました。これまで3

級症例, 2 級症例と検討を進めて参りましたが, 今回はアンケートでもご要望の多かった「非対称症例について」をテーマに討議を行いたいと思います。

この勉強会は外科的矯正治療にご興味のある矯正歯科医, 口腔外科医また一般歯科の先生, 歯科衛生士の方など同窓非同窓を問わず, 下記の要領でお申し込みをいただければ, どなたでも自由に参加していただけます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時:平成 22 年 1 月 14 日 木曜日 17 時開始予定

会場:水道橋 TDC ビル 血脇記念ホール

会費:5,000 円(懇親会費込み)

申込方法:FAX または Email で下記までご連絡ください。折り返し申込書をお送りいたします。

東京歯科大学外科的矯正治療勉強会事務局

FAX: 03-3213-3421 Email: gekakyousei@tdc.ac.jp

水道橋界限スケッチ

水道橋の江戸の風景をご存じですか。彼の北斎は, 神田川に架かる水道橋を富士の遠景に, 大きな鯉幟を大胆にあしらって表現しております。あれを見ますと TDC ビルは橋畔の松林にあったこととなります。現在の水道橋は, JR「駅の数ほどスタンプがある」では, 小石川後楽園が描かれています。TDC ビルとドームは図案化されていませんが, 水道橋にお立ち寄りの節には, 駅のスタンプを押してみても如何でしょうか。

(文責 柿澤 卓)



水道橋界限の写真募集

水道橋界限の思い出深い写真を募集します。御提供頂ける場合は, 水道橋畔発編集委員までご連絡ください。

年末年始の診療について

年末は 12 月 28 日(月)まで平常に診療いたします。年始は 1 月 5 日(火)より診療開始です。なお休診中は, 本院へ通院中の患者さまに対してのみの緊急オンコール態勢となりますので, 皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

予定プログラム

「非対称患者をめぐる心理的側面(仮題)」

千葉病院口腔外科 教授 高野伸夫

「非対称症例の手術プランニング—2 次元から 3 次元へ—」

水道橋病院口腔外科 講師 笠原清弘

「水道橋病院矯正歯科における顔面非対称の診断・治療計画ならびに症例より学ぶ治療上の留意点について」

水道橋病院矯正歯科 助教 海老原 環

「非対称症例への対応 特に呼吸機能の生理学的安定性を考慮して, 鼻腔副鼻腔内処置を含む術式の検討」

市川総合病院歯科・口腔外科 講師 渡辺 裕

東京歯科大学水道橋病院 直通電話番号(各科受付)一覧	
総合歯科	03-5275-1721 1722
口腔インプラント科	03-5275-1760
小児歯科	03-5275-1723
矯正歯科	03-5275-1724
口腔外科	03-5275-1725
歯科麻酔科	03-5275-1851
眼科	03-5275-1856
内科	03-5275-7926
放射線科	03-5275-1953
庶務課 FAX	03-3262-3420

水道橋病院 診療案内	
初診受付	平日, 土曜とも 午前 9 時から午前 11 時
診療時間	平日 午前 9 時から午後 4 時 30 分 土曜 午前 9 時から午後 12 時
休診日	第 2 土曜, 日曜, 祝日, 本学創立記念日(2 月 12 日), 年末年始

編集後記

・片や米国初のアフリカ系大統領, こなた政権交代, 目まぐるしいほどの新たな展開が, そここで起こっています。一方, 昨年から今年にかけて, 「新型インフルエンザ」への恐怖心は, 幾分和らいだのではないのでしょうか。錯綜していた情報が, だいぶ整理されてきたことによるものと感じます。

・期せずして, 本号では新任医員, 新診療科開設のおしらせ, さらに新しいコンセプトに基づく治療法の数々をお伝えすることになりました。水道橋病院は, 外観はそのままでも, 刷新を続けています。医療の本質を見誤ることなく, 周囲の方々からの二ツに的確・迅速に対応していきたいと考えております。

水道橋畔発編集委員

編集委員長 柿澤 卓

編集副委員長 関根秀志, 高久勇一朗

編集委員 高野正行, 古澤成博, 福田謙一